

# 新飯能

発行  
日本共産党  
飯能市委員会  
973-1091

金子とし江  
090-7265-1601  
山田とし子  
090-4389-4439  
新井たくみ  
090-4010-5650  
滝沢おさむ  
090-7000-4481

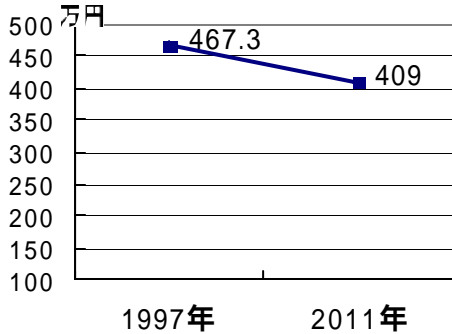
<議員団の連絡先>  
973-2111(市役所456)  
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

## 不況デフレ “アベノミクス”で打開できるか 働く人の所得増やしてこそ

安倍政権がかかげる経済対策に期待する声の一部にありますが、多くの識者は否定的です。

内需が冷え込んでいくときに日銀がいくら資金を供給しても、企業は投資に回さないことはこれまで証明済みだからです。

デフレ不況の最大の原因は、グラフのように働く人の所得が減り続けていることです。



こんな時に消費税の増税が強行されれば、家計も地方経済も、企業経営も大打撃です。財政再建どころの話ではありません。

### 人間らしく働けるルールを

大企業は、賃上げに否定的で、電機産業は大規模なリストラをすすめるようとしています。大企業が貯め込んだ内部留保260兆円の1%使うだけで一円の賃上げができるのです。

同時に、「国土強靱化」などといって、高速道路、港湾などの大型公共事業のバラマキです。これは失敗済みの政策を繰り返して、見かけの経済成長を演出して、来年の消費税増税を強行しようと言うのです。

同じ公共事業なら、ゼネコンだけが儲かる案されました。

2月1日、飯能市環境審議会(会長南林さえ子駿河台大学教授)が開催され、平成25年4月~10年間の自然環境、生活環境全般にわたる資質の向上をはかるため、「第2次飯能市環境基本計画(案)」がようやくまとまり提案されました。

雇用を守り、所得を増やして、家計の負担を減らしていくことが、国にも地方にも求められます。

第1次計画(平成15年から10年間)は、通常の騒音や河川の汚濁、大気汚染などの調査に加え、里山の保全や地球温暖化防止の取り組みを位置づけしてきました。

第2次計画(案)では、東日本大震災を経て、電力利用のあり方の点では、ライフスタイルの見直しや自然エネルギーの普及促進を図ること。放射性物質による環境汚染への対応として、空間放射線量の測定、食品・水道水中の放射性物質の検査、ごみ処理施設、し尿・下水処理施設、浄水場から発生する灰と汚泥の放射性物質の検査、放射性物質による環境汚染に関する情報等の提供など、昨年に引き続き事業の継続

自然エネルギー、放射能、空き家対策など環境基本計画(案)を提示

## 日本共産党演説会

暮らしと営業を応援する市政の実現をめざし  
飯能市議選で4議席確保を

3月23日 (土)午後7時

飯能市民会館小ホール

- お話し
- 衆議院議員 塩川てつや
  - 市議会議員 金子としえ
  - 市議会議員 山田とし子
  - 市議会議員 新井たくみ
  - 市議会議員 滝沢おさむ
- 日本共産党飯能市委員会・同後援会

訂正とお詫び  
前号の記事中インフルエンザ流行の記事について、飯能二小とありましたが、二小ではなく一小でした。お詫びして訂正させていただきます。

が位置づけられました。また、西川材の利用拡大や山間地域の日照改善の研究、空き家対策、鳥獣被害対策、犬・猫などペットの飼い方やマナーに関する啓発など、議会の一般質問や全市で開催された懇談会で出された市民の意見が網羅された内容となっており、着実な推進が求められます。

波紋  
雪の夜はマッチの火が恋しいなんていうと古いと笑われそうですが、寺山修司には「マッチ擦るつかのま海に霧

深し身捨つるほどの祖国はありや」があるし、金子兜太には「無神の旅あかつき岬をマッチで燃し」がある。マッチは詩的な存在なのです。子どもたちの頃は火遊びをしていると親から厳しく叱られたものです。子ども

の火遊びが取り返しのかない火事になることがあるのだから親も真剣に怒った。最近の尖閣諸島をめぐる日中の対応をみると、どうしても子ども頃の火遊びを思い出してしまう。中国軍の海自艦への射撃用レーザーの照射は一步間違えれば重大な不測の事態を招きかねない挑発行為です。それにしても日本も中国もどうも尖閣問題を政治的に利用することしか考えていないようです。お互いに利用しあって火遊びをしているうちに大火になつたらどうするのかと

思うとぞっとします。

# 踏切整備など報告

## 笠縫土地区画整理事業説明会開催

2月3日、笠縫区画整理事業の進捗率状況説明会が加治地区行政センターで開催されました。当地区の区画整理は昭和63年に当初の事業認可がされ、既に24年経過しています。

説明会では笠縫土地区画整理事業は、施工面積76・6Haで区域内の建物戸数は1380戸、移転対象戸数は851戸となっています。

が、現時点での建物移転は715戸が移転、移転率は84%になっているとの現状報告、ま



た、住民要望の一つである公園の整備については、現在八高線と西武線の交差付近の3号公園の整備がされていますが、JAいるま野から佐瀬踏切へ向かう途中の東側で1号公園の整備を進め26年度には利用できるような整備を進めるとしています。

平成27年3月には南北を結ぶ道路が開通

現在、地区内では南北の道路整備を進めるため原屋さん付近の六

道踏切の移設工事が行

われていますが、今年度で工事は完了し北側

直近の双柳岩沢線までの一方通行は解消され

ます。さらに西武線7

号踏切では地下に雨水管などの敷設工事とともに信号や通信の工事を進め27年3月には9mに拡幅され自動車も通行できる予定となつており元笠縫駐在所付近から原屋さん北側まで自動車通行可能になります。

また、同時に(新)元加治9号踏切の整備を進め同時期に通行できるようにし、区画整理事務所南側の現9号踏切は廃止になる予定です。八高線、大久保踏切についても27年3月に西側への移設が完了し島崎踏切、現大久保踏切、上岡踏切は廃止になりますが、国道299号線のコンビニ東側から加治小学校北側への道路も通行でき

るようにしたいとされています。

事業認可10年の延伸

笠縫区画整理事業は建物移転率は、84%となったものの道路整備率(道路側溝などが完備された道路)では22・47%であり136

## 文化を通じて憲法9条を広げよう

奥むさし・文化9条

の会は「文化を通じて9条の素晴らしさを市民に広げよう」と地域で粘り強い活動を展開して、6年を経過しました。さる、2月2日(土)夕方、市内一丁目クラブにおいて、7

回目の「全体会議・新年会」を開催しました。一年のまとめと新年

度の計画、役員の選出を行いました。計画に



戸の移転残戸数もあり今後の事業の問題について「現在の事業認可は平成27年3月31日となっているが本日に事業が完了するのか」との質問に、「さらに10年程度の事業延伸となる」との考えが示されました。

## 文化を通じて憲法9条を広げよう

よると春は憲法記念日の中央集会、夏は反核平和のイベント、秋は市民ぐるみの文化イベントなどを決めました。新年会では三味線の演奏と民謡、ハーモニカ、ギター演奏、フルートとクラリネットの演奏など和やかに文化交流で親睦を深めました。

懇談の意見では「総選挙で憲法改悪勢力が多数になった。本気で9条を守る活動に全力を挙げよう」の意見もあり、情勢を反映して過去最高の33名の参加と初参加の方も目立ちました。会は2、3月を会の強化期間として市民に広く入会をよびかける方針です。

みなさんと力をあわせて実現しました。

### 飯能市立病院

#### 入院ベッドの存続と患者の送迎



飯能市立病院の縮小・廃止問題は、保守系議員が「縮小・廃止の検討」を求めたことを口実に、飯能市の保健と福祉の将来を考える懇談会を立ち上げました。平成18年度にわずかな数時間の検討で、近隣に岡村クリニック、武蔵台病院などができたなどとして、「市立病院として入院機能を残す必要性は薄い。病床規模を段階的に縮小し、将来的に入院機能を廃止する」と結論を

出し、沢辺市長は無床の診療所にする方針を明らかにしました。日本共産党は、議会での論戦とともに、職員、住民と「市立病院を良くする会」に参加し、学習会、住民懇談会、署名運動などをすすめてきました。市立病院をよくする会は、市立病院の病床の確保と患者の送迎を求める署名は、「良くする会」一万筆、自治会が一万一千筆の大きな運動になりました。こうした住民運動が市政を動かして、「縮小・廃止」の結論を白紙に戻させ、有識者会議を設置して、再検討をさせました。その後、指定管理者制度が導入されましたが、委託先病院の努力もあり、信頼される医療施設になりました。市は4億円をかけて、改修・整備を行い、19床のベッドと29床の小規模老人保健施設の医療介護センターとして、入院ベッドを確保し、患者の送迎も実現することができました。